

# 関西学連第3回臨時総会

文責: 吉岡春樹

徳力: 今日話し合うことは、ロングセレが 1)不成立だった場合の対応策、2)成立したが非常事態と認められる場合の対応策。過去(2020年度)の事例を踏襲することになる。

## 不成立時について

### 男子について

- ・優先順位1(前年度インカレロング25位以内)の者を採用する。
- これを考慮すると平岡・二俣だがそもそも前年度実績枠を持っており、この基準は必要ない
- ・1枠は推薦した上で代替大会を開催し、その大会で枠を振る、または参考に推薦する。
- ・スプセレの通過者の数を基準として各大学に枠を分配する。

高野: スプリントとロングは全く違う競技なので最後の項目は削除するべきではないか

- ・すべての枠を諮問委員会が選出する

徳力: 諮問委員会の負担が大きい。

### 女子について

- ・優先順位1の者→なし、優先順位2(前年度インカレミドル25位以内)の者を採用する。

高野: 神大4回の松本さんは個人実績枠がないはず。これに該当する。

- ・1枠は推薦した上で代替大会を開催し、その大会で枠を振る、または参考に推薦する。
- ・スプセレの通過者の数を基準として各大学に枠を分配する。

徳力: 代替大会は非常に重要な事項。北東インカレが挙げられる。

高野: 京大京女立命部内杯はどうか。

箕浦: 静岡県が公式に大会を県外者が開催するのは禁止している。だから練習という扱いになる。

徳力: それではやはり北東インカレではないか。

箕浦: 他に代替大会がないのであれば北東インカレで行かざるを得ない。

高野: 全日本ミドルロングにして、クラスは別々だろうが、諮問委員会が総合的に判断するというのはどうか。

徳力: 確かに一理ある。そもそもなかなかロングの大会がない。

徳力: 北東インカレ、全日本ロングを代替大会とする。

箕浦: インカレの申し込みが9月3日だからそれまでに決定しておいた方が良いのではないか

高野: 去年は二日前に繰り上がりで出た人がいるので直前でも良いのかも知れないが、それは繰り上がりだからであるかもしれない。

箕浦: 資料を確認したところ9月3日までの方がいいようだ

高野: 去年はコロナの関係で直前でのエリート登録が許されていたのかも知れない。全日本まで待てるのか否かで二通りの結論を出しておくべきではないか。

徳力: 待てるのであれば全日本を考慮に入れる。無理なら除外。あとで締め切りの確認を取る。

[結論]

## 【男子】

### 〈甲〉

9枠について以下のいずれかの方法で選出する。

[α] 1枠を選考会推薦基準にのっとり、諮問委員が選出する。残りの枠を、代替大会 1を指定し、その大会に枠を振り、成績上位者を通過とする。

[β] 1枠を選考会推薦基準にのっとり、諮問委員が選出する。残りの枠を、代替大会を指定し、その大会の成績をもとに諮問委員が選出する。

### 〈乙〉

すべての枠を選考会推薦基準にのっとり、諮問委員が選出する。

## 【女子】

### 〈甲〉

1.ロング推薦基準における優先度2の者(松本-神大4)は、本人に出場の意思があれば選出とする。

2 残りの3枠について上記の[α]~[β]いずれか。

### 〈乙〉

4枠について上記の[α]~[β]いずれか。

### 〈丙〉

すべての枠を選考会推薦基準にのっとり、諮問委員が選出する。

代替大会 — 北東インカレ→[α]/[β]、全日本ロング→[β]

### ・補欠選手の決定

徳力: 代替大会の順位で決定する

### 非常事態について

徳力: 成立したが異常事態だった時の定義をしておくべき。DISQ50%ではどうか。

高野: 選手皆が納得いく大会の時DISQ率50%の時もある。関西学連に文書で出たときではどうか。

丸田: 文書がでる時は上位に入るはずだった選手がDISQになったときだと思われる。

高野: DISQのひとの順位も含めた順位をだして考えるということでもいいか。1人でもセレ通過の可能性があればということか。

丸田: 1人には拘らない。

徳力: フォレストではDISQ大量発生という事態はおこりえないのでは。

高野: 起こりうるとしたら未帰還者が大量発生することくらいでは。

吉岡: ポスト飛ばしも除外すべき。

徳力: 熱中症で倒れるひとがいるかもしれないが考慮外とする。

高野: DISQ率50%、意見書、タイム考慮のいずれかか。

吉岡: 3条件すべてでもいいのでは。

徳力: そうする。

丸田: 「意見文が提出され、かつアンケートをとって非常時に相当すると判断された場合」ではどうか。その場合、各校にもちかえりアンケートをとることになる。

張: 異議申し立ての最低人数をきめておくべきではないか。

高野: 出場していない人が投票しても意味が無い。

丸田: アンケートというより投票というべき。

高野: DISQしていない人も非常事態と認めるべきなので50%は越えないといけない

吉岡: 投票を経ると不成立になることを考えると得票率は高め、75%がいいのでは。

徳力: 75%にする。

吉岡: 端数はどうするか。

丸田: 75%以上にすればいいのでは。

箕浦: 意見書はDISQした人に限るのか。また、ロングセレにかぎるのか。

高野: このロングセレのみ。

箕浦: ロングで立ち禁は起こる確率が低いと思われる。

丸田: DISQしていないひとでも意見書は出せるようにするべき。

高野: 意見文と投票はつながっているが、DISQはつながりが薄い。

丸田: 「セレとするには不十分だとする意見文」とすればよいのでは。また、DISQは議論する必要が無いのではないか。

徳力: DISQについての議論は不必要というのは、同じ意見。また、投票が可決されると不成立と同じ動きになることも確認しておく。

張: ありえないかもしれないが、意見文提出を意図的にする人がいるのでは。

高野: 意見文を採用すべきかどうか関西学連で判断すればいいのでは。投票にすると深く考えていない人が流されることも考慮しなければならぬ。それを含めての高い基準であるべき。「参加者」とは「セレクションクラス参加者」ということにするべき。また、男子と女子は別々か。

徳力: 意見文の内容による。意見文の悪用は75%という高い得票率で防いでくれると考えられる。

高野: 意見文は量と言うより質を考えるべき。

箕浦: 投票は意見文ごとにやるのか

高野: 意見文の内容を告知した上で1つの投票でいいのでは。

徳力: 賛成。悪用する人はそうそういないのではないだろうか。

高野: この措置は今回のみか。

徳力: 今回だけの措置である。

[結論] 意見書、アンケートを踏まえた上で不成立にする。

箕浦: 全体への説明はどうするのか

徳力: アンケートで説明する。

張: 投票するに到った判断の理由も公表すべき。

箕浦: 意見文への反論もいるのではないか。それも全体に発信する機会も与えるべきではないか。

高野: 意見文がふさわしいと学連に判断されれば公表して、反対意見を公募してそれも公表した上で投票に移るといのはどうか。手間かも知れないが、よく考えた上で投票できる。意見を集めるのが2回あり、投票は1回とする。

箕浦: 不成立の時の対応はस्पセレのこともあり注目を集めているので日程がタイトでも大丈夫と思われる。事前に不成立・非常時の対応を公表しておけば意見書を出す側も対応が早いのではないだろうか。

徳力: この議事録を今日の不参加者にも共有した上で改めて正式に決定する。